

令和7年度
教育行政の執行状況に関する点検評価報告書
(令和6年度事業対象)

夕張市教育委員会

目 次

第 1 章	夕張市教育行政点検評価について	
1	点検評価の目的	1
2	点検評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
第 2 章	教育委員会の会議開催状況	
1	教育委員会の会議	1
2	会議の実施状況	2
第 3 章	各事業の点検評価	
	・小中一貫教育の推進と「つなぐ学び」	7
	・確かな学力を身に付ける教育・豊かな人間性を育む教育・ 健やかな体を育む教育	9
	・特別支援教育の充実	11
	・安全・安心な教育環境・信頼される学校づくり・ 教職員の働きやすい環境	12
	・生涯学習の振興・体育・スポーツ活動・石炭博物館模擬坑道	14
第 4 章	学識経験を有する方からの改善に向けたご意見	
	・第 1 回 夕張市教育行政評価委員会議事録	16
	・第 2 回 夕張市教育行政評価委員会議事録	18
7	資料	
	・令和 7 年度夕張市教育行政評価実施要綱	
	・夕張市教育行政評価委員会設置要綱	
	・夕張市教育行政評価委員会実施要綱	

第 1 章 夕張市教育行政点検評価について

1 点検評価の目的

この点検評価は、教育委員会が自らの権限に属する事務を点検・評価し、その結果に関する報告書を議会に報告するとともに市民に公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的として実施しています。

2 点検評価の概要

対象年度は、教育委員会に置いて令和 6 年度に実施した事業としています。

点検評価を行う対象事業については、令和 6 年度教育行政執行方針に沿った施策を推進するうえで、主要な事業を選定いたしました。

点検評価の実施に当たっては、令和 6 年度の実施状況について、取り組み状況と成果について整理したうえで、今後の改善点及び取組の方向性について記載しております。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価を行うにあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定により、教育に関して学識経験を有する方の知見を活用することとされています。

このことから教育委員会では、下記 4 名の方を評価委員として委嘱し、主要な事業について点検評価内容の説明を行うとともに、各委員から意見を頂きました。

○夕張市教育行政点検評価にかかる検討委員

- ・小網 敏男（社会教育委員会委員長）
- ・山中 晴吾（夕張市校長会会長）
- ・澤井 俊和（文化財保護委員）
- ・百瀬 進（夕張市 PTA 連合会会長）

第 2 章 教育委員会の会議開催状況

1 教育委員会の会議

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき設置された合議制の執行機関です。

教育委員会の会議では、教育行政のあり方、教育関係の各種審議会等の委員の委嘱、各種規則等の制定などが話し合われます。

2 会議の実施状況

(1) 開催回数 ・定例会 12回

(2) 審議事項 ・報告案件 90件
 ・協議案件 13件
 ・議決案件 8件

開催日	付議案件
令和6年4月19日	<p><報告></p> <p>①令和6年度夕張市立小学校・中学校の学級編成について</p> <p>②退職教員辞令交付について</p> <p>③令和6年度転入教職員辞令交付式について</p> <p>④夕張市立ゆうばり小学校第14回入学式の挙行について</p> <p>⑤夕張市立夕張中学校第15回入学式の挙行について</p> <p>⑥夕張高等学校第33回入学式の挙行について</p> <p>⑦夕張高等養護学校第23回入学式の挙行について</p> <p>⑧令和6年度第1回校長・教頭会議の開催について</p> <p>⑨令和6年度第1回空知管内市町教育委員会教育長会議への出席について</p> <p>⑩令和6年度第1回北海道第5採択地区教科用図書採択教育委員会協議会への出席について</p> <p>⑪夕張市文化協会三賞授与式への出席について</p> <p>⑫夕張民謡文化連盟優勝大会への出席について</p>
令和6年5月21日	<p><報告></p> <p>①令和6年度北海道都市教育長会春季定期総会への出席について</p> <p>②第1回夕張市社会教育委員の会開催について</p> <p>③令和6年度第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会への出席について</p> <p>④市政懇談会あつやトークへの出席について</p> <p><協議></p> <p>①夕張市いじめ防止基本方針（案）について</p> <p>②令和6年度教育委員による学校視察について</p> <p>③教職員に係る時間外在校等時間の公表について</p> <p><議案></p> <p>①夕張市児童生徒就学援助規則の一部改正について</p> <p>②令和6年度夕張市奨学生の決定について</p>

令和6年6月19日	<p><報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和6年度夕張市平和教育中学生広島派遣生徒の決定について ②ゆうばり小学校運動会への出席について ③令和6年第2回定例会市議会への出席について
令和6年7月19日	<p><報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和6年度市町教育委員会学務担当者協議会への出席について ②平和教育中学生広島派遣事業事前研修について ③北海道教育推進会議（第10期第3回）への出席について ④夕張中学校地域参観日について ⑤令和6年度第2回空知管内市町教育委員会教育長会議への出席について ⑥令和6年度第1回南空知市町教育長会定例会議への出席について ⑦夕張市長の市内小中学校訪問について ⑧令和6年度水難事故防止教室について ⑨石炭博物館来館者10万人達成記念セミナーへの出席について ⑩ゆうばりこども会議（あつやトーク at 夕張中学校）への出席について ⑪（株）ツムラ出前授業について <p><協議></p> <ul style="list-style-type: none"> ①夏季休業中における学校閉庁日の設定について ②夕張市学校職員の在宅勤務の取扱いについて <p><議案></p> <ul style="list-style-type: none"> ①工事請負契約の変更について
令和6年8月21日	<p><報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和6年度夕張市外国語指導助手（ALT）の再任用に伴う委嘱発令について ②夕張高等養護学校参観日授業（一般公開）の見学について ③第1回北海道第5採択地区教科用図書採択教育委員会協議会小部会の出席について ④第3回北海道第5採択地区教科用図書採択教育委員会協議会の出席について ⑤練成会グループ夏期合宿について ⑥教職員永年勤務者表彰式の挙行について <p><議案></p> <ul style="list-style-type: none"> ①夕張市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について ②令和7年度に使用する教科用図書の採択について

	<p><協議></p> <p>①令和6年度全国学力・学習状況調査等の掲載について</p> <p>②令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の掲載について</p>
令和6年9月20日	<p><報告></p> <p>①令和6年度都市教育委員会連絡協議会定期総会への出席について</p> <p>②ゆうばり小学校地域参加日の視察について</p> <p>③行政常任委員会への出席について</p> <p>④令和6年第3回定例市議会への出席について</p> <p>⑤令和6年度国、北海道及び夕張市の三者協議について</p>
令和6年10月21日	<p><報告></p> <p>①令和6年度市町教育委員会特別支援教育連絡会議への出席について</p> <p>②令和6年度第1回夕張市教育行政評価委員会の開催について</p> <p>③令和6年度第通学路安全推進会議の開催について</p> <p>④令和6年度空知管内公立小中学校教職員人事推進会議等への出席について</p> <p>⑤夕張高等学校オープンスクールの視察について</p> <p>⑥夕張市長の市内小中学校訪問について</p> <p>⑦滝ノ上町内会運動会への出席について</p> <p>⑧夕張市海外短期留学研修派遣等市民報告会への出席について</p> <p>⑨第35回札幌ゆうばり会総会・交流会への出席について</p> <p>⑩アイヌ遺骨の慰霊施設（ウポポイ）における鎮魂式への出席について</p> <p>⑪夕張高校魅力化ビジョン会議への出席について</p> <p>⑫オレンジフェスティバル（学習発表会）の視察について</p> <p>⑬第25回ゆうばり芸能特選への出席について</p> <p>⑭夕張高等学校公開授業の視察について</p> <p><協議></p> <p>①令和6年度教育委員による学校視察（2回目）について</p> <p>②教育行政点検評価項目の見直しについて</p>
令和6年11月21日	<p><報告></p> <p>①令和7年度当初教職員人事に係る第1次協議への出席について</p> <p>②令和6年度北海道都市教育長会秋季定期総会への出席について</p> <p>③南空知市町教育長会定例会議への出席について</p> <p>④全市音楽発表会への出席について</p> <p>⑤夕張市市民文化祭2024について</p> <p>⑥小中一貫教育先進校視察研修について</p> <p>⑦第100回記念公演夕張の杜コンサートへの出席について</p>

	<p>⑧令和6年度夕張市功労・善行表彰式への出席について</p> <p>⑨あつやトーク at 夕張中学校（1年生）について</p> <p>⑩あつやトーク at 夕張中学校（2年生）について</p> <p>⑪夕張中学校公開授業研究会について</p> <p><協議></p> <p>①令和7年定例教育委員会日程について</p> <p>②年末年始における学校閉庁日について</p> <p><議案></p> <p>①令和7年度奨学生の募集について</p>
令和6年12月20日	<p><報告></p> <p>①令和6年度第3回空知管内市町教育委員会教育長会議への出席について</p> <p>②行政常任委員会について</p> <p>③令和6年第4回定例夕張市議会について</p> <p>④マウントレースイスキー場安全祈願祭への出席について</p> <p>⑤練成会グループ「漢字・計算コンクール」について</p> <p>⑥歳末特別警戒出動式及び繁華街視察への出席について</p> <p><協議></p> <p>①令和7年度夕張市教育行政執行方針の骨子について</p>
令和7年1月21日	<p><報告></p> <p>①令和7年新春書初大会の開催について</p> <p>②令和7年夕張市二十歳を祝う会への出席について</p> <p>③令和7年消防出初式への出席について</p>
令和7年2月21日	<p><報告></p> <p>①北海道教育推進会議への出席について</p> <p>②北海道公立学校情報機器整備共同調達会議への出席について</p> <p>③令和7年度当初人事異動に係る第二次協議について</p> <p>④令和7年度空知管内教育推進の重点に係る会議への出席について</p> <p>⑤子ども版あつやトークについて</p> <p><協議></p> <p>①令和7年度教育行政執行方針（案）について</p> <p><議案></p> <p>①指定管理者の指定について</p>
令和7年3月21日	<p><報告></p> <p>①令和6年度夕張中学校卒業生の進路状況について</p> <p>②令和7年度教職員人事異動について</p>

	<p>③北海道夕張高等学校第33回卒業証書授与式について</p> <p>④北海道夕張高等養護学校第22回卒業証書授与式について</p> <p>⑤夕張市立夕張中学校第15回卒業証書授与式について</p> <p>⑥夕張市立ゆうぱり小学校第14回卒業証書授与式について</p> <p>⑦行政常任委員会への出席について</p> <p>⑧令和7年第3回臨時市議会への出席について</p> <p>⑨令和7年第1回定例市議会への出席について</p> <p>⑩行政常任委員会（予算審査）への出席について</p> <p><議案></p> <p>①夕張市招致外国青年任用規則の一部改正について</p>
--	--

令和7年度（令和6年度事業） 夕張市教育行政点検評価表

施策・取組分野		小中一貫教育の推進と「つなぐ学び」
主な取組内容（要約）		<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育を開始し、9年間を通じて学力・体力・豊かな心を育てる ・幼児期から高校まで学びをつなぎ、子どもや先生の交流を深める ・郷土を大切にし、地域の未来を考えるキャリア教育の推進 ・仲間と協力し、新しい価値を生み出せる子どもを育てる
実 施 状 況		
地域学校協働本部事業・学校運営協議会事業		
(1)	自己評価	<p>小中一貫教育を進めるにあたり、小・中学校を一つの学校運営協議会として運営しており、地域・学校・家庭の間で情報共有が密に行われている。地域の方々や保護者、教職員が協力しながら教育環境の充実を図っており、信頼される学校づくりに大きく貢献している。</p> <p>今後も地域と学校が一体となって子どもを育てる取組を継続していくことが必要である。</p>
総合的学習実践		
(2)	自己評価	<p>「夕張市小中高一貫ふるさとキャリア教育」カリキュラムに基づき、子どもたちが自らテーマを考え、調べ、まとめ、発表する学習を行った。</p> <p>夕張の自然や産業、歴史など身近なことから学びを広げ、他地域との比較を通して夕張の良さや課題を考える活動ができた。</p> <p>学年や成長段階に応じた内容で、主体的に学ぶ姿勢が育っている。</p>
小中高連携事業		
(3)	自己評価	<p>小学校3年生から高校3年生までを見通した一貫した英語カリキュラムにより、段階的に学びをつなげている。</p> <p>英語に親しむ機会を増やすことで、実践的な英語力の向上につながっている一方で、オンライン英会話などに苦手意識をもつ児童生徒もおり、一人ひとりのペースに合わせた学び方の工夫や、英語を楽しむための基礎づくりが今後の課題である。</p>
小・中乗入れ授業		
(4)	自己評価	<p>小学校6年生を対象に、中学校の音楽教員が専門性を生かした授業を行った。</p> <p>また、小学6年生が中学校の校舎で授業を受ける機会を増やすことで、中学校生活への不安をやわらげる取組も進めている。</p> <p>小中の連携が深まり、円滑な進級と「中1ギャップ」の軽減に効果が見られた。</p>
児童生徒交流、教職員間情報共有、職員研修の相互訪問		
(5)	自己評価	<p>児童・生徒会の合同会議や小・中合同による「絆づくり生徒集会」などを通して、異なる学年の子ども同士が交流を深めた。</p> <p>上の学年が下の学年を思いやる温かい雰囲気生まれ、将来の自分の姿を具体的に思い描くことができた。</p> <p>教職員も小中合同で研修を行い、9年間を見通した授業改善に向けて活発に意見を交わすなど、小中一貫教育の推進に向けた体制が整ってきている。</p>
小中一貫教育の推進に向けた研修の充実		
(6)	自己評価	<p>小中学校と教育委員会の職員が、先進地である安平町早来学園を視察し、施設や取組について学んだ。</p> <p>実際に見聞きしたことが今後の取組の参考となった、一方で、旅費の確保が難しく、遠方への研修や十分な時間を取ることができない課題もある。</p> <p>引き続き、効果的に学べる研修の機会を工夫して設けていきたい。</p>

<p>今後の改善点 ・ 取組の方向性</p>	<p>小中一貫教育により、子どもたちが9年間安心して学べる環境を整備してまいります。</p> <p>学校運営協議会を中心に地域・学校・家庭が連携し、「ふるさとキャリア教育」をつうじて、自分でテーマを考え夕張の魅力や将来を考える活動が広がり、英語学習も小中高を通じて段階的に力を伸ばせるようになっていきます。</p> <p>今後は、英語が苦手な子どもへの支援や個別に合った学びの工夫、職員の学び合いの機会をさらに充実させる必要があります。</p>
--------------------------------	--

令和7年度（令和6年度事業） 夕張市教育行政点検評価表

<p>施策・取組分野</p>	<p>確かな学力を身に付ける教育 豊かな人間性を育む教育 健やかな体を育む教育</p>
<p>主な取組内容（要約）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育で学力を高め、個別最適な学びと協働的な学びを両立 ・教師の指導力向上を図り、確かな学力を児童生徒に届ける ・多様性や思いやり、自己肯定感を育む豊かな心の教育の推進 ・体育や健康教育を充実させ、健やかに成長できる環境の整備
<p>実 施 状 況</p>	
<p>外国語指導充実</p>	
<p>(1)</p>	<p>自己評価</p> <p>ALTを1名継続して任用し、小中学校の授業や放課後の活動で英語に親しむ機会を提供している。 ゲームなどを通して英語に触れることで、楽しみながら自然に発音やリスニング力を高める取組となっている。 幼少期から英語に慣れ親しむことで、将来的な語学力の向上が期待される。</p>
<p>児童・生徒健全育成事業（各種検定料補助）</p>	
<p>(2)</p>	<p>自己評価</p> <p>児童生徒に対し、英検や漢検など各種検定の受検を支援している。 検定を学習の目標の一つとすることで、学ぶ意欲の向上につながっており、今後も受検者の増加をめざして取組を進めていきたい。</p>
<p>放課後オンライン学習事業</p>	
<p>(3)</p>	<p>自己評価</p> <p>練成会グループと連携し、オンラインで学べる「ゆうばりサポートオンライン塾」を令和5年度から開設しており、家庭で映像授業に取り組むことで、個別のペースで学習を進めることができる。 学力差の改善や学習習慣の定着を目的としており、今後も継続的な取組が求められる。 令和6年度は小学生9名、中学生8名、計17名が受講した。</p>
<p>外国語指導助手</p>	
<p>(4)</p>	<p>自己評価</p> <p>令和2年度から継続して任用しているALTは来日から4年が経過し、授業中に限らず放課後にも積極的に交流しており、英語に慣れ親しむことや抵抗感なく児童生徒とのコミュニケーションが円滑になっていることから、継続して事業実施していく</p>
<p>「ゆうばりっこ、学び育成プラン」に基づく教育</p>	
<p>(5)</p>	<p>自己評価</p> <p>小中一貫教育の各部会で教育活動の充実を図り、「学びの質の向上」に取り組んでいる。 ICT端末を活用した個別最適な学びにより、「できた」という達成感を得る機会が増え、学ぶ意欲の向上につながった。 また、小中教員が合同研修を行い、9年間を見通した教育課程づくりや学習規律の共通化を進めた。</p>
<p>少人数習熟度別授業・TT・タブレット活用</p>	
<p>(6)</p>	<p>自己評価</p> <p>中学校では加配教員を活用し、数学の習熟度別授業を実施している。 生徒一人ひとりの理解度に応じた指導により、「わかる」体験を積み重ね、学ぶ意欲の向上に結びついている。 また、一人一台のタブレット端末を使い、個別最適な学びの実現を進めている。 今後は教員のICTスキルの差を埋めるため、研修やサポート体制の充実が必要である。</p>

音楽発表会事業	
(7)	<p>自己評価</p> <p>60年以上続く伝統的な音楽発表会は、コロナ禍で休止していたが、令和5年度に再開した。 幼児から高校生、地域の音楽団体まで幅広い世代が参加し、学校間や地域とのつながりを深める貴重な機会となっている。 今後も教育振興と地域文化の発展のため、継続的に実施していくことが望まれる。</p>
児童生徒鑑賞教室	
(8)	<p>自己評価</p> <p>小学校では人形劇「ばけものづかい」、中学校では落語鑑賞会を実施し、質の高い公演を鑑賞した。 普段触れることの少ない舞台芸術や伝統芸能に親しむことで、子どもたちの感性や創造性を育む良い機会となっているため、今後も継続して実施していきたい。</p>
平和教育推進事業費補助	
(9)	<p>自己評価</p> <p>平成6年度から続く中学生の広島派遣事業では、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話を通じて、命の尊さや平和の大切さを深く学んでいる。 令和6年度も代表生徒2名を派遣し、学校祭や音楽発表会での報告を通じて全市に学びを共有した。 現在は寄付金を活用して実施しているため、今後の継続には財源の確保が課題である。</p>
児童・生徒健康管理	
(10)	<p>自己評価</p> <p>全児童生徒を対象に健康診断や歯科検診を実施しており、新入生には尿検査や心電図検査も行い、異常が見つかった場合は関係機関と連携して早期対応に努めている。 今後も健康管理体制の充実を図っていく。</p>
児童・生徒健全育成事業(ｽｷｰ-授業)	
(11)	<p>自己評価</p> <p>地元のｽｷｰ場を活かし、郷土愛の育成と健全な体づくりを目指してｽｷｰ授業を実施している。 成長期の中学生にとってｽｷｰ用具の購入は負担が大きいため、レンタル事業を実施し、必要な道具を柔軟に貸し出すことで、誰もが安心して授業に参加できる環境を整えた。</p>
<p>今後の改善点 ・ 取組の方向性</p> <p>学力向上のため、「全国学力・学習状況調査」や「標準学力検査」の結果を分析し、授業改善を進めています。 また、検定料補助や一人1台端末を活用した放課後オンライン学習により、子どもたちが自ら学ぶ力を育成しています。 英語教育ではALTと連携し、楽しみながら外国語への興味を高めています。 さらに、音楽発表会や鑑賞教室を通じて豊かな感性を育み、平和学習や健康教育にも力を入れています。 今後は学力差の縮小と教員のICT活用力向上を図り、子ども一人ひとりが自信を持って学び続けられる教育環境づくりを進めていきます。</p>	

令和7年度（令和6年度事業） 夕張市教育行政点検評価表

施策・取組分野		特別支援教育の充実
主な取組内容（要約）		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな指導と支援 「ゆうぱりっこ未来ファイル」を活用し、支援や引継ぎの充実 学校・保護者・関係機関と連携し、切れ目のない支援体制の整備 特別支援学級教諭の専門性向上を図り、研修や資料収集の充実
実 施 状 況		
特別支援教育支援員		
(1)	自己評価	<p>小学校において3名の特別支援教育支援員を任用し、特別な支援を必要とする児童への学習支援を実施した。</p> <p>その結果、児童が落ち着いて学習活動に取り組む姿が見られるなど、一定の成果があった。</p> <p>一方で、中学校では応募がなく支援員を配置できなかったため、今後の人材確保が課題である。</p>
特別支援教育連携協議会		
(2)	自己評価	<p>特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の実態把握や情報共有を目的に、市内外の関係機関が参加する協議会を2回開催（7・2月）。</p> <p>また、空知教育局の特別支援教育スーパーバイザーを招き、専門部会研修会を実施（10月）。</p> <p>さらに、「ゆうぱりっこ未来ファイル（個別の教育支援計画）」の様式を見直し、引継ぎ時に必要な情報を簡潔にまとめやすくした。</p> <p>これにより、関係機関との情報共有が一層進み、特別支援担当教諭の専門性向上にもつながった。</p>
就学説明会		
(3)	自己評価	<p>令和7年度に小学校入学を予定する保護者を対象に就学説明会を実施した。</p> <p>就学に際して円滑な合意形成を図るため、特別支援教育の考え方や支援体制について丁寧に説明し、理解促進に努めた。</p> <p>保護者への就学に対する安心感を高めるため引き続き、丁寧な情報提供を行っていく。</p>
今後の改善点 ・ 取組の方向性		<p>特別な支援を要する児童生徒の割合が年々増加する中、早期からのきめ細かな支援がより重要となっています。</p> <p>そのため、関係機関との情報共有や連携を円滑に行える体制づくり、教職員の専門性向上が欠かせません。</p> <p>これまで、特別支援教育支援員の配置や協議会の開催、研修の充実により支援体制の充実が進んできました。</p> <p>特に「ゆうぱりっこ未来ファイル」を活用した引継ぎは、子どもたちが安心して新たな環境に移行できる大きな支えとなっています。</p> <p>今後も、一人ひとりの特性に応じた支援の充実を図り、すべての子どもが自分の力を発揮できる環境づくりを進めます。</p>

令和7年度（令和6年度事業） 夕張市教育行政点検評価表

<p>施策・取組分野</p>	<p>安全・安心な教育環境 信頼される学校づくり 教職員の働きやすい環境</p>
<p>主な取組内容（要約）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房設置や長期休業等の調整で、児童生徒の安全と健康を守る ・校舎や通学路の点検、健康・防災・救命教育で安全な環境の整備 ・学校と家庭・地域が協働し、様々な活動を通じて信頼される学校づくり ・教職員の勤務時間や休養日制度で、教育に専念できる環境の整備
<p>実 施 状 況</p>	
<p>校舎エアコン整備</p>	
<p>(1)</p>	<p>自己評価</p> <p>猛暑対策として、小・中学校の児童生徒が学習で使用するすべての教室および職員室にエアコンを設置した。 これにより、夏季でも安心して学習できる環境が整い、猛暑の影響による日課変更を行うことなく教育活動を継続できた。 児童生徒・教職員ともに快適に過ごせる環境が確保され、教育の質の維持に大きく寄与した。</p>
<p>地域学校協働本部事業</p>	
<p>(2)</p>	<p>自己評価</p> <p>小学校では昔遊び体験会や参観日に合わせた見守り活動を実施し、中学校では芸術文化体験教室などを行った。 これらの活動は学校からも信頼され、地域住民とのつながりを深める良い機会となっている。 一方で、地域コーディネーターやボランティアの高齢化が進んでおり、今後は新たな人材の発掘や世代交代を見据えた体制づくりが課題である。</p>
<p>学校運営協議会事業</p>	
<p>(3)</p>	<p>自己評価</p> <p>年3回の会議および研修会を開催し、より良い学校運営に向けた意見交換や協議を行った。 各委員から活発な意見が寄せられ、それらの内容を学校で共有し、教育活動の改善に役立てている。 具体的な成果として目に見えにくい部分もあるが、学校運営への影響は大きく、今後も地域の声を反映した協議を重ねていくことが重要である。</p>
<p>地域おこし協力隊派遣事業(ICT)</p>	
<p>(4)</p>	<p>自己評価</p> <p>ICT教育の充実を図るため、専門的知識を有する協力隊員を小・中学校兼務で1名配置し、教職員研修の実施や現場でのトラブル対応を行った。 ICT機器の活用支援を通じて、授業の効率化と教員のスキル向上に寄与している。 今後もICT教育の推進役として、教職員の支援体制の強化を図る。</p>
<p>部活動指導員配置事業</p>	
<p>(5)</p>	<p>自己評価</p> <p>スキー部の指導員を任用し、平日・休日を問わず専門的な指導を行った。 これにより、スキー指導が可能な教職員が少ない中でも、競技の継続と指導の質向上が実現した。 また、教職員が部活動指導に充てていた時間を他の業務に振り分けることができ、業務負担の軽減や働き方改革の推進に効果があった。</p>

校務支援システム管理	
(6)	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>教職員の業務効率化と負担軽減を目的に、令和2年度から校務支援システムを導入・運用している。 勤務時間の把握や成績・指導要録の管理などに活用され、教職員の健康管理や働き方改革に寄与している。 令和6年度からは、小中一貫教育の推進に伴い、学校間の連絡・情報共有ツールとしても活用し、教育現場の円滑な連携を支えている。</p>
<p>今後の改善点 ・ 取組の方向性</p>	<p>教職員の働き方改革をさらに進めることで、子どもたちと向き合う時間を増やし、安心して学べる環境づくりを目指しています。 猛暑対策としてのエアコン整備や、ICT機器・校務支援システムの活用により、教職員の負担を軽減し、子どもに寄り添う時間を確保しています。 また、地域の見守り活動や文化体験、学校運営協議会での意見交換など、学校と地域が協力する取組も広がり、子どもたちの地域への愛着や保護者・住民の信頼にもつながっています。 今後は、若い世代や外部人材の活用を進め、持続可能な教育環境を整えていきます。</p>

令和7年度（令和6年度事業） 夕張市教育行政点検評価表

<p>施策・取組分野</p>	<p>生涯学習の振興 体育・スポーツ活動 石炭博物館模擬坑道</p>
<p>主な取組内容（要約）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を推進し、子どもから大人まで学べる環境の整備 ・「りすた」を拠点に、市民講座や文化事業、交流の場の提供 ・体育・スポーツ環境を整え、健康と生きがいを高める ・石炭博物館模擬坑道の早期復旧を目指す
<p>実 施 状 況</p>	
<p>りすたチャレンジ協働事業</p>	
<p>(1)</p>	<p>自己評価</p> <p>令和3年度から、市民団体との協働により「りすた」を活用した取組を進めてきた。 令和6年度は応募がなかったが、創意工夫による施設利用の定着や市民活動の広がりなど、当初の目的は概ね達成されたと考えられる。 そのため、本事業は令和6年度をもって終了とした。</p>
<p>「もも倶楽部」「朝活キッズ」等社会教育事業の継続開催</p>	
<p>(2)</p>	<p>自己評価</p> <p>社会教育事業は長年にわたり継続して実施してきており、市民や関係団体の協力により安定的に実施されている。 一方で、予算面では厳しい状況が続いており、現状維持を基本とした実施となっている。 今後は限られた財源の中で工夫を凝らし、継続的に市民文化活動を支援していく必要がある。</p>
<p>「りすた図書館」活用行事</p>	
<p>(3)</p>	<p>自己評価</p> <p>道立図書館や読み聞かせボランティアの協力により、小学校での「ブックフェスティバル」や「図書まつり」を開催した。 地域ボランティアの支えによって幅広い取組が実現しているが、今後は専門職員の確保や育成、蔵書の充実など、利用促進に向けた基盤づくりが課題である。</p>
<p>スポーツ交流創出委託料</p>	
<p>(4)</p>	<p>自己評価</p> <p>体育施設を活用した合宿誘致などにより、交流人口の拡大を目指す取組として、担当職員を配置し、合宿利用者を対象にアンケート調査を実施した。 謝金による協力を通じ、継続利用や新規団体の誘致につながっている。 一方で、把握した課題への対応が人員や財源確保の課題により進んでいない。 さらなる誘致には宿泊施設の確保が欠かせない。</p>
<p>体育協会助成費補助</p>	
<p>(5)</p>	<p>自己評価</p> <p>「幸福の黄色いハンカチ基金」を活用し、市民団体や少年団が行うスポーツ活動を支援している。 毎年多くの団体が活用し、活動継続のための重要な財源となっている。 今後も対象経費の説明や助成内容を丁寧に案内し、より良い活用につなげていく。</p>

<p>体育施設管理業務委託料</p>	
(6)	<p>自己評価</p> <p>長期契約に基づき、夕張市体育協会が文化スポーツセンター、平和運動公園、清水沢プールの管理を行っている。 コロナ禍の影響が落ち着き、施設利用も回復傾向にある。 宿泊施設の確保が進めば、合宿利用などの促進も期待される。 一方で、老朽化が進む施設の維持補修費が増加しており、計画的な改修と職員体制の確保が課題である。 令和7～9年度には文化スポーツセンターのLED化を予定している。</p>
<p>模擬坑道復旧事業</p>	
(7)	<p>自己評価</p> <p>令和6年度の消火設備工事をもって復旧事業が完了し、令和7年4月19日に7年ぶりの再開を迎えた。 模擬坑道は国の登録有形文化財であり、日本遺産にも認定されている。 今後は市の歴史を伝える重要な観光・教育資源として、保全と活用を両立させていく必要がある。</p>
<p>地下展示室改修</p>	
(8)	<p>自己評価</p> <p>石炭博物館は平成30年度に全館リニューアルを行ったが、電気設備は全面的な改修を実施していなかった。 地下展示室の老朽化に伴い、令和6年度に第1期工事（入口から中間点まで）を実施。 今後、第2期工事（高圧ケーブル更新・埋設）および第3期工事（中間点から終点）を計画している。 安全な展示環境を維持するため、計画的な改修を進める。</p>
<p>今後の改善点 ・ 取組の方向性</p>	<p>生涯学習やスポーツ、文化活動は、世代を問わず学びや交流を深める大切な機会です。 「りすた」では市民講座や文化イベントを継続的に実施し、地域の皆さんが集い学ぶ場として定着しています。 ボランティアや団体の協力により、読書活動や文化祭、スポーツ大会など、多彩な活動も広がっています。 一方、予算や人員の制約、体育施設の老朽化や宿泊環境の不足など課題もあります。 今後は、市民のアイデアや外部連携を活かし、持続可能で身近な活動の充実を図ります。 また、復旧した模擬坑道を安全に活用し、夕張の歴史や文化を未来に伝える学びの場として活用していきます。</p>

令和7年度（令和6年度実施事業）

第1回 夕張市教育行政評価委員会議事録

令和7年11月11日（火）16:00
りすた多目的室2

●出席者

評価委員 小網委員・山中委員・澤井委員・百瀬委員

市教委 小林教育長・押野見教育課長・辻主幹兼社会教育係長・村井学校教育係長

1. 開 会 押野見教育課長が開会を宣言
2. 教育長あいさつ 小林教育長あいさつ
3. 委員紹介
4. 委員長選出 互選により、委員長に小網委員、副委員長に山中委員を選出
5. 協議事項
 - (1) 教育行政評価について
 - ・事務局より評価表の変更を含め概要を説明
 - ・次回の評価委員会で各委員から意見をいただき報告書に添付する旨説明
 - 【意見・質問】 なし
 - (2) 教育行政評価報告の公表について
 - ・事務局より意見評価の取りまとめを行ったのち、議会及び市公式ホームページに掲載し市民への公表を行う旨説明
 - 【意見・質問】 なし
 - (3) 各評価委員からひとこと（自由発言）
 - <委員1>
 - ・夕張市の小・中一貫教育は空知管内でも評価が高い
 - ・小・中学校の先生方の垣根がなく、一つの学校のように研修が行われている
 - ・小・中一貫教育9年間の成果はこれからあらわれてくる
 - ・教育は学校だけのものではなく、地域に開かれたもので、夕張には資源も人材も豊富にあるので、活用していきたい

<委員2>

- これまで様々な活動を通じて子どもたちと関わってきた
- しかし、市内で他の方々や団体が行っている事業と重複する場合がありますので、情報共有できたらよい
- 企業と協働で子どもたちの未来の選択肢を提示できたらよい

<委員3>

- PTAとして活動に係る支援を続けていきたい
- 小・中一貫教育は大変なことだと思う、教職員同士のつながりが大事
- 小学校から中学校へ進学する際、子どもたちの長所短所を十分に引き継いでもらうことが保護者の安心につながる

<委員4>

- 学校教育と社会教育が一体となり、子どもから大人までが学び続ける生涯学習となることが大事
- 保護者同伴でのイベント事業は子どもたちにとっても保護者にとっても良いことだと思う
- 家庭教育が重要で、親の姿を見て子どもは育つ、親が手本を見せることが重要
- 地域資源を知ることが重要で、その中からブラッシュアップして、教育資源として生かしていくことが大事

(4) その他

- 第2回評価委員会を令和7年11月21日(金)16時からりすた多目的室2で開催する旨を説明
- 【意見・質問】 なし

6. 閉会

- 小網委員長より閉会の宣言を行い終了

以 上

令和7年度（令和6年度実施事業）

第2回 夕張市教育行政評価委員会議事録

令和7年11月21日（金）16:00
りすた多目的室2

●出席者

評価委員 小網委員・山中委員・澤井委員・百瀬委員

市教委 小林教育長・押野見教育課長・辻主幹兼社会教育係長・村井学校教育係長

1. 開 会 押野見教育課長が開会を宣言

2. あいさつ 小林教育長

3. 協議事項

（1）小中一貫教育の推進と「つなぐ学び」

＜委員1＞

- ・小中一貫教育や義務教育学校を実施している市町が増えてきている
- ・小・中が分断されると「中1ギャップ」が生じ、環境の変化についていけない子供があらわれる
- ・そのため、環境の変化を小さくし、円滑な接続を図る小・中一貫の取組は重要
- ・夕張市は非常に充実した取組を行っている
- ・昨年度は教員負担の増加が懸念され、形を作るのに苦勞した
- ・しかし今年、先生方が日常的に子どもの課題や必要な支援を協議し、主体的な取組になっている
- ・夕張の小・中一貫教育は、これからさらに充実していこう
- ・空知教育局からも高い評価を受けている

＜委員2＞

- ・コミュニティスクールの会議でも、小中一貫教育について継続的に議論されている
- ・小・中の先生方からも、連携がしっかり図られていると聞いている
- ・中学校は義務教育の「出口」であり、ここから社会に出ていくという視点が重要
- ・社会に巣立つ直前の教育をどのように組み立てるかという観点で取り組んでいる
- ・小学校から一貫した教育が行われることで、その効果はあると認識している
- ・私たち（社会教育関係）としても、出来る部分をしっかりバックアップしていきたい
- ・夕張市の教育を地域全体で支えていければ良いと考えている

<委員3>

- ・自主的な学習や家庭学習をしっかり定着させる事が必要
- ・小・中・高の連携によるオンライン英会話や英検・漢検等への挑戦が、学習意欲を高めるきっかけになる
- ・自分の成長を実感できることで、子どもたちが学びにやりがいを感じられるようになる
- ・学校での取組が充実しているので、家庭での学習習慣も更に根付くことを期待している

<委員4>

- ・小中一貫教育に、今後はこども園・保育園が加わることで、幼保からの一貫したつながりが生まれることを期待している
- ・仲間づくりの観点から、幼・小・中・高が連続して関わり合える体制が望ましい
- ・社会教育とも連携し、小・中一貫をより魅力的で充実した取組にしてほしい
- ・各段階の垣根を超えてつながることが重要である

<事務局>

- ・英検、漢検等については助成事業を実施してきている
- ・幼保と小学校をつなぐ「かけはし期」の取組を今年度、キックオフ会議を開催し、来年度から本格的に実施していくところ

(2) 確かな学力を身に付ける教育・豊かな人間性を育む教育・健やかな体を育む教育

<委員1>

- ・学力とは単に点数だけで判断されるものではなく「自立して生きていける力」である
- ・心と体をきたえ、協調性・挑戦力・リーダーシップ・粘り強さなど、点数では図れない力＝非認知能力も重要である
- ・小・中一貫を軸に、社会に出る子どもを育てるという視点で、小・中・高の連携をさらに進めるべきである

<委員2>

- ・社会で求めている人材は、点数では測れない力を持つ人である
- ・中学校は社会への出口であり、社会的視点から見たとき、豊かな人間性などの育成が重要となる
- ・社会に出るためには、学力・人間性・健康の3点が欠かせないため、これらの取組を今後も継続してほしい

<委員4>

- ・現場での働き方改革が重視されているが、子どもたちの教育とのバランスが重要である
- ・知・徳・体のそろった子どもを育てることが大切である

(3) 特別支援教育の充実

<委員1>

- ・夕張の特別支援教育の体制はしっかり整っている
- ・これまで見過ごされがちだった子どもたちへ目が届き、支援学級や通級で適切に対応できている
- ・個に応じた学びが充実しており、支援が行き届き、安心できる環境となっている

<委員2>

- ・以前は見過ごされていた子供たちも、現在は手厚く支援されている
- ・児童数が少ないこともあり、一人一人に丁寧なケアができている
- ・子どもたちの教育への関心が高く、現体制での支援を継続してほしい
- ・個性のある子ども一人一人に対応するため、社会全体で特別支援教育の知識を深めていく必要がある

<委員3>

- ・「ことばの教室」で、一人ひとりに合わせた丁寧な指導が行われている
- ・小学校の教員とも連携を取っており、手厚い対応がされている
- ・今後もこの支援体制を継続してほしい
- ・中学校への支援員配置が必要である

<委員4>

- ・子どもたちが将来、自立して社会に出ていくための指導を継続してほしい
- ・社会活躍するためには特別支援教育が重要である
- ・教育委員会の取り組みを知り、大変参考になった

(4) 安全・安心な教育環境・信頼される学校づくり・教職員の働きやすい環境

<委員1>

- ・中学校では部活動の地域展開が全国的課題で、指導員確保や支援体制に大きなエネルギーと時間が必要
- ・教職員の働き方改革が始まっている中、現状を市民に理解してもらうことも重要
- ・学校は信頼があって初めて教育活動が成り立つ
- ・夕張は保護者との関係は良好だが、現状に満足せず、さらに信頼される学校づくりを進める必要がある

<委員2>

- PTA 活動が学校と保護者の両輪として機能しており、安心して子供を預けられる環境がある
- 学校環境が快適で、子どもたちも安心して学んでいる
- 今後も親から信頼される学校づくりを継続してほしい
- 夕張市は教育環境の整備に十分配慮している

<委員3>

- 夕張の学校へのエアコン導入は近隣市町村に比べて早く、保護者としても非常にありがたく感じている

<委員4>

- 最近、クマの出没があり、こども園の子どもたちが散歩に出られない状況
- 教育環境周辺の安全対策に取り組んでほしい
- 地域のシルバー人材を活用し、子どもたちに歴史を教える取組も期待している

(5) 生涯学習の振興・体育・スポーツ活動・石炭博物館模擬坑道

<委員1>

- 夕張は、放課後活動の場や文化スポーツセンターの利用は充実している
- 施設も整備されており、夏休みには各種事業が行われている
- これからは新しい施設を増やすよりも、既存の施設をいかに有効活用できるかが重要

<委員2>

- 子どもたちは夏休みも忙しいが、大人が学びや活動の環境を整えている成果と感じている
- 「りすた」などの施設は十分に整備されており、今後はコンテンツの充実が重要
- 学校教育と社会教育との連携を深めることで、より効果的な学びが可能になる
- 模擬坑道は文化学習の重要施設として立派に復旧しており、引き続き体育・スポーツ活用や文化活動の推進が望まれる

<委員3>

- 模擬坑道やスポーツ施設は整備されているが、宿泊施設が不足している
- スポーツ大会等の開催時、宿泊は近隣市町に依存している
- 宿泊施設不足を補うため、近隣市町との連携も検討できる

<委員4>

- 学校教育と社会教育をつなげ、両輪で実施することが大事

- 石炭博物館は、夕張の歴史を学ぶ上で非常に重要な施設で、夕張は化石の産地としても特色がある
- 炭鉄港への参加はしているが縦割り感があり、各市町と連携して学びを広げていくことが重要

(委員長)

これですべての項目が終わりました

昨年度までは委員のご意見として各委員からレポートで提出していましたが、本年度から、本日いただいた意見を整理することとなりました

非常に貴重なご意見をいただきありがとうございました

本日いただいた意見を基に教育委員会でさらに充実した教育行政を進めていただきたい

(事務局)

- 教育行政報告書の取扱いについて説明
【意見・質問】 なし

4. その他

- 評価委員の任期について説明
- 来年度の開催時期について説明

5. 閉会

- 小網委員長より閉会の宣言を行い終了

以 上

資 料

- 令和~~7~~年度夕張市教育行政点検評価実施要綱
- 夕張市教育行政評価委員会設置要綱
- 夕張市教育行政評価委員会実施要領

令和7年度夕張市教育行政点検評価実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)の規定に基づき、夕張市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすために必要な事項を定めることを目的とする。

(点検評価の対象)

第2条 令和6年度における点検評価の対象は、令和6年度夕張市教育行政執行方針に基づき、実施した主要な事業とし、その取組み状況と成果について教育委員会が点検評価する。

- ・小中一貫教育の推進と「つなぐ学び」
- ・確かな学力を身に付ける教育・豊かな人間性を育む教育・健やかな体を育む教育
- ・特別支援教育の充実
- ・安全・安心な教育環境・信頼される学校づくり・教職員の働きやすい環境
- ・生涯学習の振興・体育・スポーツ活動・石炭博物館模擬坑道

(点検評価表)

第3条 点検評価表の様式は別紙のとおりとし、教育委員会の評価は事業毎に担当者が自己評価し教育長が最終決定する。

附 則

この要綱は決定の日から施行する。

夕張市教育行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 夕張市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価に関し、客観性の確保と効果的な教育行政の推進を図るため、夕張市教育行政評価委員会（以下「評価委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 評価委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 教育委員会が行う事務事業の評価に関すること。
- (2) その他教育委員会が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 評価委員会は、委員5人以内で組織する。

2 委員は、教育について優れた見識を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を統括し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 評価委員会の会議は、必要に応じて教育委員会が召集する。

2 評価委員会は、委員の半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 評価委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて意見又は説明を聞くことができる。

(庶務)

第8条 評価委員会の庶務は教育課学校教育係において行う。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が評価委員会に諮って定めるものとする。

附 則

この要綱は決定の日から施行する。

夕張市教育行政評価委員会実施要領

1 実施方法

当該年度の教育行政執行方針に掲げる取組み、実施状況等に対する教育委員会の自己評価について、次項の視点に基づき教育面での有効性の観点から評価判定と意見具申を行う。

4 点検評価表等の公表

夕張市教育行政点検評価表（自己評価調書）及び関係資料については、夕張市ホームページへの掲載により公表する。

5 会議録記載事項

会議録に記載する事項は次のとおりとする。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 出席者の氏名
- (3) 議題
- (4) 個々の発言内容の要旨
- (5) その他委員長が必要と認める事項

令和7年度（令和6年度事業） 夕張市教育行政評価委員会委員名簿

氏名	役職等	備考
小網敏男	社会福祉法人夕張保育協会理事長	
山中晴吾	夕張市校長会会長	
澤井俊和	文化財保護委員	
百瀬進	夕張市PTA連合会 会長	